2023　年度 授業計画（シラバス）

学　　科	人工知能学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	実習
科 目 名	テクニカルドキュメンテーション Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	通年	教室名	302教室
担 当 教 員	若林 健一	実務経験とその関連資格	シャープ株式会社にて産業向け・家庭向け機器の企画・開発業務を20年間、新規事業開発を3年担当。講義内容に関わる、企画書、設計書などの技術資料、プレゼンテーションなどを多数行っている。			

《授業科目における学習内容》

専門知識や自分自身の考えをドキュメント化し、プレゼンテーションやインターネット上に公開するスキルを習得し、実践して、論理的に情報を発信する姿勢を獲得・形成する。

《成績評価の方法と基準》

課題　70％ 年間を通して最低2テーマについてドキュメント化する
出席　20％
平常　10％

《使用教材（教科書）及び参考図書》

（参考文献）都度提示します
※各自特集したい技術についての記述がある文献を参照

《授業外における学習方法》

インターネット上のあらゆる技術資料を探し、分かりやすい資料の特徴を掴み、自身がこれから作成するドキュメントに反映させましょう。その為には、授業外の時間を有効に活用し、1つでも多くの文献に目を通すこと。

《履修に当たっての留意点》

技術1つを取っても、そこにはあらゆる基礎技術の上に成り立つものがほとんどである。すなわち選択した技術テーマを特集しドキュメント化するためには、これら基礎技術についての知識が必須であることを念頭に作業すること。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	授業で利用するツールの環境の構築	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	授業で利用するツールの導入・設定（1）		
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	授業で利用するツールの環境の構築	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	授業で利用するツールの導入・設定（2）		
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	PCとクラウドツールの基本習得	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	PCとクラウドツールの基礎（1）		
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	PCとクラウドツールの基本習得	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	PCとクラウドツールの基礎（2）		
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	PCとクラウドツールの基本習得	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	PCとクラウドツールの基礎（3）		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	PCとクラウドツールの基本を身に着ける	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	PCとクラウドツールの基礎(4)		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	PCとクラウドツールの基本習得	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	PCとクラウドツールの基礎(5)		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	PCとクラウドツールの基本習得	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	PCとクラウドツールの基礎(6)		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	Googleドキュメンテーションツールの習得	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	Googleドキュメンテーションツール(1)		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	Googleドキュメンテーションツールの習得	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	Googleドキュメンテーションツール(2)		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	Googleドキュメンテーションツールの習得	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	Googleドキュメンテーションツール(3)		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	Googleドキュメンテーションツールの習得	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	Googleドキュメンテーションツール(4)		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	画像作成ツールの習得	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	Canvaを使ったグラフィック素材制作(1)		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	画像作成ツールの習得	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	Canvaを使ったグラフィック素材制作(2)		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	プレゼンテーションドによる双方向コミュニケーション	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	アンケートシステムを使った双方向プレゼンテーション(1)		

2023　年度 授業計画（シラバス）

学　　科	人工知能学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	実習
科 目 名	テクニカルドキュメンテーション Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 （4） 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	通年	教室名	302教室
担 当 教 員	若林　健一	実務経験とその関連資格	シャープ株式会社にて産業向け・家庭向け機器の企画・開発業務を20年間、新規事業開発を3年担当。講義内容に関わる、企画書、設計書などの技術資料、プレゼンテーションなどを多数行っている。			

《授業科目における学習内容》

専門知識や自分自身の考えをドキュメント化し、プレゼンテーションやインターネット上に公開するスキルを習得し、実践して、論理的に情報を発信する姿勢を獲得・形成する。

《成績評価の方法と基準》

課題　70％ 年間を通して最低2テーマについてドキュメント化する
出席　20％
平常　10％

《使用教材（教科書）及び参考図書》

（参考文献）都度提示します
※各自特集したい技術についての記述がある文献を参照

《授業外における学習方法》

インターネット上のあらゆる技術資料を探し、分かりやすい資料の特徴を掴み、自身がこれから作成するドキュメントに反映させましょう。その為には、授業外の時間を有効に活用し、1つでも多くの文献に目を通すこと。

《履修に当たっての留意点》

技術1つを取っても、そこにはあらゆる基礎技術の上に成り立つものがほとんどである。すなわち選択した技術テーマを特集しドキュメント化するためには、これら基礎技術についての知識が必須であることを念頭に作業すること。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	実習形式	授業を通じての到達目標	プレゼンテーションドによる双方向コミュニケーション	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	アンケートシステムを使った双方向プレゼンテーション（1）		
第17回	実習形式	授業を通じての到達目標	テキストエディタの習得	作成資料など	なし
		各コマにおける授業予定	Visual Studio Code基礎（1）		
第18回	実習形式	授業を通じての到達目標	テキストエディタの習得	作成資料など	なし
		各コマにおける授業予定	Visual Studio Code基礎（2）		
第19回	実習形式	授業を通じての到達目標	プレゼンテーションスキルの取得	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	プレゼンテーションの実践（1）		
第20回	実習形式	授業を通じての到達目標	プレゼンテーションスキルの取得	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	プレゼンテーションの実践（2）		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	実習形式	授業を通じての到達目標	プレゼンテーションスキルの取得	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	プレゼンテーションの実践(3)		
第22回	実習形式	授業を通じての到達目標	プレゼンテーションスキルの取得	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	プレゼンテーションの実践(4)		
第23回	実習形式	授業を通じての到達目標	プレゼンテーションスキルの取得	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	プレゼンテーションの実践(5)		
第24回	実習形式	授業を通じての到達目標	プレゼンテーションスキルの取得	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	プレゼンテーションの実践(6)		
第25回	実習形式	授業を通じての到達目標	プレゼンテーションスキルの取得	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	プレゼンテーションの実践(7)		
第26回	実習形式	授業を通じての到達目標	プレゼンテーションスキルの取得	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	プレゼンテーションの実践(8)		
第27回	実習形式	授業を通じての到達目標	著作権に関連する知識の習得	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	著作権とライセンス(1)		
第28回	実習形式	授業を通じての到達目標	著作権に関連する知識の習得	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	著作権とライセンス(1)		
第29回	実習形式	授業を通じての到達目標	前期のまとめとふりかえり	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	前期のまとめとふりかえり(1)		
第30回	実習形式	授業を通じての到達目標	前期のまとめとふりかえり	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	前期のまとめとふりかえり(2)		

2023　年度 授業計画（シラバス）

学　　科	人工知能学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	実習
科 目 名	テクニカルドキュメンテーション Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 （4） 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	通年	教室名	302教室
担 当 教 員	若林　健一	実務経験とその関連資格	シャープ株式会社にて産業向け・家庭向け機器の企画・開発業務を20年間、新規事業開発を3年担当。講義内容に関わる、企画書、設計書などの技術資料、プレゼンテーションなどを多数行っている。			

《授業科目における学習内容》

専門知識や自分自身の考えをドキュメント化し、プレゼンテーションやインターネット上に公開するスキルを習得し、実践して、論理的に情報を発信する姿勢を獲得・形成する。

《成績評価の方法と基準》

課題　70％ 年間を通して最低2テーマについてドキュメント化する
出席　20％
平常　10％

《使用教材（教科書）及び参考図書》

（参考文献）都度提示します
※各自特集したい技術についての記述がある文献を参照

《授業外における学習方法》

インターネット上のあらゆる技術資料を探し、分かりやすい資料の特徴を掴み、自身がこれから作成するドキュメントに反映させましょう。その為には、授業外の時間を有効に活用し、1つでも多くの文献に目を通すこと。

《履修に当たっての留意点》

技術1つを取っても、そこにはあらゆる基礎技術の上に成り立つものがほとんどである。すなわち選択した技術テーマを特集しドキュメント化するためには、これら基礎技術についての知識が必須であることを念頭に作業すること。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第31回	実習形式	授業を通じての到達目標	Markdown記法の習得	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	Markdown記法（1）		
第32回	実習形式	授業を通じての到達目標	Markdown記法の習得	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	Markdown記法（2）		
第33回	実習形式	授業を通じての到達目標	バージョン管理システムの習得	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	GitHub基礎（1）		
第34回	実習形式	授業を通じての到達目標	バージョン管理システムの習得	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	GitHub基礎（2）		
第35回	実習形式	授業を通じての到達目標	WEBサイトを使った情報発信	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	GitHub PagesによるWEBサイト制作・公開（1）		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第36回	実習形式	授業を通じての到達目標	WEBサイトを使った情報発信	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	GitHub PagesによるWEBサイト制作・公開（2）		
第37回	実習形式	授業を通じての到達目標	WEBサイトを使った情報発信	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	GitHub PagesによるWEBサイト制作・公開（3）		
第38回	実習形式	授業を通じての到達目標	WEBサイトを使った情報発信	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	GitHub PagesによるWEBサイト制作・公開（4）		
第39回	実習形式	授業を通じての到達目標	WEBサイトを使った情報発信	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	GitHub PagesによるWEBサイト制作・公開（5）		
第40回	実習形式	授業を通じての到達目標	WEBサイトを使った情報発信	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	GitHub PagesによるWEBサイト制作・公開（1）		
第41回	実習形式	授業を通じての到達目標	プレゼンテーションスキルの向上	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	伝わるプレゼンテーション（1）		
第42回	実習形式	授業を通じての到達目標	プレゼンテーションスキルの向上	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	伝わるプレゼンテーション（2）		
第43回	実習形式	授業を通じての到達目標	プレゼンテーションスキルの向上	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	伝わるプレゼンテーション（3）		
第44回	実習形式	授業を通じての到達目標	プレゼンテーションスキルの向上	PC 参考文献 テキストなど	他者の発表内容を自身の知識として吸収すること
		各コマにおける授業予定	伝わるプレゼンテーション（4）		
第45回	実習形式	授業を通じての到達目標	プレゼンテーションスキルの向上	PC 参考文献 テキストなど	他者の発表内容を自身の知識として吸収すること
		各コマにおける授業予定	伝わるプレゼンテーション（5）		

2023　年度 授業計画（シラバス）

学　　科	人工知能学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	実習
科 目 名	テクニカルドキュメンテーション Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 （4） 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	通年	教室名	302教室
担 当 教 員	若林　健一	実務経験とその関連資格	シャープ株式会社にて産業向け・家庭向け機器の企画・開発業務を20年間、新規事業開発を3年担当。講義内容に関わる、企画書、設計書などの技術資料、プレゼンテーションなどを多数行っている。			

《授業科目における学習内容》

専門知識や自分自身の考えをドキュメント化し、プレゼンテーションやインターネット上に公開するスキルを習得し、実践して、論理的に情報を発信する姿勢を獲得・形成する。

《成績評価の方法と基準》

課題　70％ 年間を通して最低2テーマについてドキュメント化する
出席　20％
平常　10％

《使用教材（教科書）及び参考図書》

（参考文献）都度提示します
※各自特集したい技術についての記述がある文献を参照

《授業外における学習方法》

インターネット上のあらゆる技術資料を探し、分かりやすい資料の特徴を掴み、自身がこれから作成するドキュメントに反映させましょう。その為には、授業外の時間を有効に活用し、1つでも多くの文献に目を通すこと。

《履修に当たっての留意点》

技術1つを取っても、そこにはあらゆる基礎技術の上に成り立つものがほとんどである。すなわち選択した技術テーマを特集しドキュメント化するためには、これら基礎技術についての知識が必須であることを念頭に作業すること。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第46回	実習形式	授業を通じての到達目標	プレゼンテーションスキルの向上	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	伝わるプレゼンテーション（6）		
第47回	実習形式	授業を通じての到達目標	プレゼンテーションスキルの向上	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	伝わるプレゼンテーション（7）		
第48回	実習形式	授業を通じての到達目標	プレゼンテーションスキルの向上	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	伝わるプレゼンテーション（8）		
第49回	実習形式	授業を通じての到達目標	価値をデザインする	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	サービスデザイン（1）		
第50回	実習形式	授業を通じての到達目標	価値をデザインする	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	サービスデザイン（2）		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第51回	実習形式	授業を通じての到達目標	価値をデザインする	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	サービスデザイン(3)		
第52回	実習形式	授業を通じての到達目標	価値をデザインする	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	サービスデザイン(4)		
第53回	実習形式	授業を通じての到達目標	価値をデザインする	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	サービスデザイン(5)		
第54回	実習形式	授業を通じての到達目標	価値をデザインする	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	サービスデザイン(6)		
第55回	実習形式	授業を通じての到達目標	価値をデザインする	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	サービスデザイン(7)		
第56回	実習形式	授業を通じての到達目標	価値をデザインする	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	サービスデザイン(8)		
第57回	実習形式	授業を通じての到達目標	価値をデザインする	作成資料など	他者の発表内容を自身の知識として吸収すること
		各コマにおける授業予定	サービスデザイン(9)		
第58回	実習形式	授業を通じての到達目標	価値をデザインする	作成資料など	他者の発表内容を自身の知識として吸収すること
		各コマにおける授業予定	サービスデザイン(10)		
第59回	実習形式	授業を通じての到達目標	一年間の活動を振り返り、自身の成長を確認する	作成資料など	なし
		各コマにおける授業予定	一年間の振り返り(1)		
第60回	実習形式	授業を通じての到達目標	一年間の活動を振り返り、自身の成長を確認する	作成資料など	なし
		各コマにおける授業予定	一年間の振り返り(2)		